

## 様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

(第1面)

## 特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年/5/13

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県猿島郡五霞町川妻1186番地

氏 名 株式会社ダイゾー エアゾール事業部 東京工場

工場長 村上 芳生

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0280-84-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

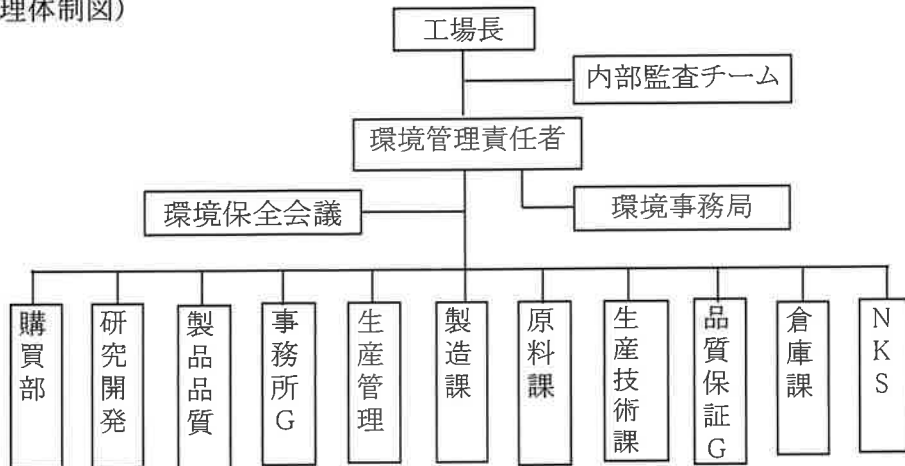
事業場の名称	株式会社ダイゾー エアゾール事業部 東京工場
事業場の所在地	茨城県猿島郡五霞町川妻1186番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E32：その他の製造業
②事業の規模	年間売上高：201億円、エアゾール製造本数8371万本
③従業員数	784名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物→保管→収集運搬委託→ 中間処分委託→収集運搬委託→最終処分委託

(日本工業規格 A列4番)



## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	排出量	329.5 t	t
②計画	（これまでに実施した取組） 生産量が増加した為、廃棄量も増加したが、特別管理産業廃棄物（廃油）の分別を行ってきた。リサイクル業者に特別管理産業廃棄物（廃油）の排出を行った。また、有価物（燃料）として引き取る業者を探し、そこに排出した。		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	0
	排出量	250.0 t	0.0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の3Rを更に継続的に勧める。		

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 燃えやすい廃油
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自社で再生利用を行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自社で熱回収を行っていない。 又自社で中間処理し、減量していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自社で埋立て処分を行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	全処理委託量	329.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	329.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	329.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	0.0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特別管理産業廃棄物（廃油）の全量を処理委託している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	全処理委託量	250.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	250.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	250.0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 令和3年度の行った方法を継続する。		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニルは器物を除く)		329.5 t
	(今後実施する予定の取組) 優良産廃処理業者への対応を展開していく。		
※事務処理欄			

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
茨城県猿島郡五霞町川妻1186番地	株式会社ダイソー エアゾール事業部 東京工場	総務課		0280-84-1211	0280-84-2734	

特別管理産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																		②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑤ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量(t)
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残存量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	( ⑪= ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦ =⑪+⑬+⑭+⑮ )					⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)				
												⑪再生利用者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処 理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)					
コード	名 称																				
コード 参照	特別管理産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量 (⑬、⑭除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設等である処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量 (⑫～⑭を除く)	⑮の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑪の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの (自動計算)	③の量と⑤の量を合計したもの (自動計算)		
1	7000 燃えやすい廃油	329.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	329.5	329.5	0.0	0.0	0.0	0.0	329.5	0.0	0.0		
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
合計		330	0	0	0	0	0	0	0	0	330	330	0	0	0	0	330	0	0		

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和7年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
茨城県猿島郡五霞町川妻1186番地	株式会社ダイソー エアゾール事業部 東京工場	総務課		0280-84-1211	0280-84-2734	

特別管理産業廃棄物の種類		計画の実施状況																	
コード	名称	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量(t)	⑤④のうち熱回収を行った量(t)	⑥自ら中間処理した後の残存量(t)	⑦自ら中間処理により減量した量(t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量(t)	⑨自ら中間処理した自埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	委託先による区分					⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑫自ら再生利用を行った量(t)	⑬⑫と⑭の量を合計したもの(自動計算)
		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑭再生利用業者への処理委託量(t)	⑮熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑯熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑰その他の中間処理委託量(t)	⑱埋立処分委託量(t)	(t)	(t)	(t)
コード参照	特別管理産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑥の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑭の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑮除く)	⑮の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑯の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の処理業者への焼却処理委託量	⑰の量のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑱～⑳を除く)	⑱の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑲の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑫の量と⑭の量を合計したもの(自動計算)	⑬の量と⑮の量を合計したもの(自動計算)
1	7000 燃えやすい廃油	250.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	250.0	250.0	0.0	0.0	0.0	0.0	250.0	0.0	0.0
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
合計		250	0	0	0	0	0	0	0	0	250	250	0	0	0	0	250	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。